



5年 椎名 由起

大きなおばあちゃん

暑い夏の日

毎日毎日暑かった

大きなおばあちゃんは

病気でねていた

私の大好きなおばあちゃん

毎日お医者さんが来ていた

だけどもちとも良くならない

そしてある日の夕方

私がそろばんを習いに行っている間に

おばあちゃんは死んでしまった。

おばあちゃんは何も言わない。

冷くなっていた。

みんなが来て

きれいなお花でいっぱいになった。

おばあちゃん、

おばあちゃんはおじいちゃんと一緒に
空の星になってしまったんだね。



5年 向後 修一

金魚の死

晴れた日……………

ぼくは、池をながめた。

金魚が死んでいた。

「大変だよ！」

ぼくは大声を出した。

弟がとんできた、

おじいちゃんも

おばあちゃんもとんできた。

一ぴき二ひき……………

数えながら

思わずなみだが

でてしまいうだった。

その日……………

おばあちゃんは、

ぼくらのかわりに

小さなおはかを作ってくれた。

俳句・短歌会

山深く落葉が綴る未完の詩

鈴木 つね

落葉焚く匂ひふくみて里暮る、

土屋 好

雪踏んで八幡平に夕日亨く

大木静波子

甲斐の山燃えて裾野の隠れ岩

越川せつ子

紅き橋渡る太宰府初時雨

藤代 敏子

子供らのいつしか囲む落葉焚

伊藤 幸枝

応えなき夫なに思ふ落葉焚

椎名 静子

遠き地の友の訃報や秋深まる

越川 雪枝

諸掘るや憩ふも鋤を杖となし

伊藤 定男

落葉焚くや吉凶こもも届けられ

椎名しげる

シリーズ ⑨

我が家の家庭教育

健全な成長を願って

宮内 鈴木 幸子

光陰矢の如し、この諺のように、結婚をして、十三年の歳月があつという間に過ぎ去ってしまいました。この間、我が子の誕生、サラーマンから離れ自営業を開始し、大きな転機の時期もあり、育児、家事、主人の手伝いと、毎日が目の回る程の忙しさで、無我夢

中の日々でもありましたが、本当に充実した日々でもありました。腕白小僧たちも、人間成長過程の第一反抗期も過ぎ、第二反抗期をあと何年かで迎える年令にもなってきました。大分叫ばれていた校内暴力は以前に比べて減ってきている現状のことです。減ってきているからといって、安心ではなく、子供自身の悩み、ストレスは他の転化した形で現われることにもなりかねないのではないのでしょうか。校内暴力と並んで家庭内暴力も叫ばれている昨今。一番の問題の原点は親子対話の欠如ではないかと考えさせられます。

そこで、夕食時などなるべく、子供たちが、今日あった学校のできごと、その他自然に親と何でも話し合える一家団欒の場をつくることを心がけて努力しています。我が子と心のつながりをもつには、自分自身も子供の身になって考えたり、物事を言いきかせる時には子供の目の高さになって話すようにしたり、親が子供に解けこんで忙しい中、戸外で少しの時間でも、キャッチボール・ラニングをしたり、一緒に本を読んだり、お話をきかせたりするなど、心の触れ合いをも大切にするようにしています。我が家では、親子四人が音楽が好きで、子供

と一緒に楽器を学んでいます。音楽を通していろいろな対話も生まれます。和やかな親子関係ができたなら、こんなに素晴らしいことはないということも望んでいたからです。何でもいから親と子が一緒になって学んだり活動したりすることは、親子の暖かい心の触れ合いに通じていくことだと思えます。生きがいのある生活をとの願いの心をもって親子共に精一杯、二十一世紀に向かって頑張っていきたいと思えます。地域社会のためにも、他人の子も、自分の子も、愛をもって健全に成長させてゆけるよう心がけてゆこうと望んでいます。